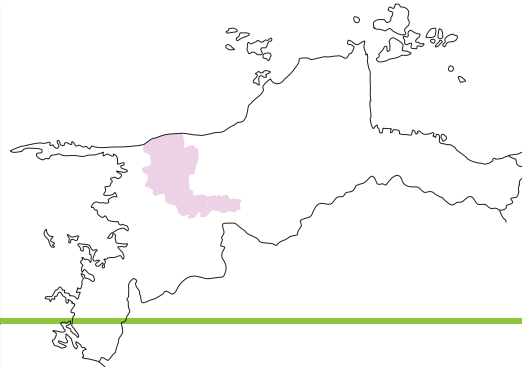


有限会社 グリーン サラダ



大洲市

野菜養液栽培システムによる 大洲市軟弱野菜供給基地事業

1 事業内容

弊社で開発した野菜養液栽培システムを、農家や農業参入する企業等に販売するとともに、システムを活用した栽培技術から流通までのマネジメントや、メンテナンスを含む生産者の経営全般をサポートする事業を展開する。

2 事業背景

建設業を営む株式会社西田興産が、社員を守りながら地域に貢献できる新規事業への展開を検討した結果、地域性から農業に参入することとなり、平成17年6月「有限会社グリーンサラダ」を法人設立した。

葉物など軟弱野菜の県内生産量は近年急速に減少し、その多くを県外の主要な野菜産地に頼る状況となっている。葉面積が多く蒸散の盛んな軟弱野菜は、野菜類の中でも日持ちしない品目であり、県外産は店頭で商品のロス率が高く、地元産を求める声が多かった。そのような中で、土耕栽培及び水耕栽培の両方の利点を生かし、軟弱野菜生産者の所得安定に貢献し、地域農業の活性化に繋げていく野菜養液栽培システムを開発した。



3 事業、技術、商品の特徴

開発した野菜養液栽培システムは、これまでの植物工場や水耕システムに比べ、低価格で導入でき、業務用途に適した高い品質を保ちながら、安定収穫と作業効率化を実現できる新生産技術で主に次のような利点を有している。

- ・ 栽培ベットを地上80cmに高設化しているため植付け・収穫の作業性に優れる。
- ・ 有機培地の上に独自開発した栽培パネルを配置した衛生的な栽培方法である。
- ・ 平野部で高温期でもほうれん草等の栽培ができ、年間の計画的な栽培が可能。
- ・ 栽培期間の短縮により農薬使用が極端に少ない安全な野菜生産が可能。
- ・ 年間15回転以上の作付けが可能で、ハウス等の施設利用効率が高い。
- ・ 水耕栽培では、生育環境が単一で病原菌に侵されやすく、大量の養液と栽培システムの洗浄管理が必要となるが、当システムでは不要。

4 助成内容及び効果

当該システムに係る特許を取得したほか、農業従事者のみならず各業界からシステムの視察を受けるなど、各方面から当該システムに対する期待が寄せられており、助成事業で実施した展示会出展やパンフレットによる訴求効果が得られている。

5 今後の展望

マンションでのベランダ栽培、レストランなどでの展示栽培などが出来る生産システムのデモ機製作を行い、モニター栽培を行いながら商品PRや栽培システムの認知度向上につなげるとともに、野菜専門レストランとのコラボなど広報活動やPR戦略等の面も強化していく。

Message From Entrepreneur

今までに経験のない新たな挑戦は、常に、新しい種まきを繰り返し行うことだと思います。収穫する喜びを夢見て継続していきたいと思っています。

企業概要

〔代表者〕 代表取締役 西田 弘二
 〔住 所〕 大洲市徳森248 (株式会社 西田興産 内)
 〔設 立〕 平成17年6月
 〔TEL〕 0893-25-0211
 〔FAX〕 0893-25-0554
 〔URL〕 <http://www.yuis.info/company/green.html>